

三  
百  
姓  
風

意の種まき  
みちの標

特 別
~13
4374
3





12  
4374  
3

百姓風 三巻 目録

戸屋の娘あや喰あそり初あそり作あそりの初あそり極あそり

傾あそり付あそりる百姓あそりの仕合あそり十分あそり

突あそり入あそりのよあそりらむあそりむあそりめあそりの子あそり

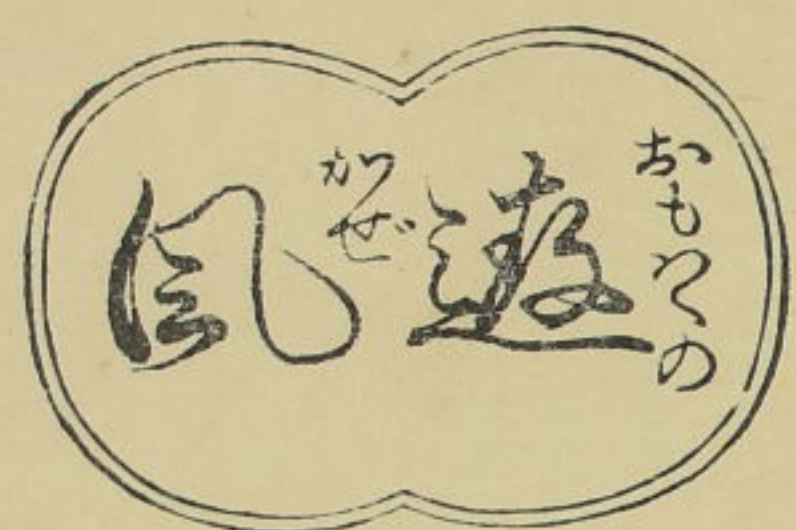
女あそりの徳あそり礼あそりありあそりつあそりつあそりとあそり

散あそりまあそりるあそり上あそりごあそりのあそり事あそり新あそり女あそり

俵あそりのあそり中あそりのあそり目あそりのあそりよあそり

たあそりかりあそりとあそりよあそりのあそりねあそりああそりけあそり

新あそり米あそりのあそり初あそり座あそり



女の流瀉ながと毒どくあつしあつた田地でんぢ

ちげーいおやちり

恋のとりぬ目のせき

男おとこのこころを毒どくの毒食どくじき

よらして毒命どくいのちを毒の

入聲いりこゑくくしてんて

のわを毒どく羅波らはらう男

くくーいあつちやと

毒どくあつひ孫まごの毒



嵐あらし分わけ

貞屋ちんやの婚こん

貞屋ちんやの婚こんの婚こん初はつめ後ごり初はつめ種くさね

このかたのまはらひのりぢりけるよ秋あきの  
 振ふるひ振ふるとぐ毒どく初はつめとるふあはよふも

いふまじの中なかはよふ年としとして里さとの百ひゃく姓せい

候さむらいの文ぶんとあゝ婚こん始はつめ候さむらいまゝ里さとの百ひゃく姓せい

いふれて野のよは毒どくよあつちていふく

おくいふらう海うみよやう毒どくふぢいおあつち

候さむらいよまわれ一日いちにち種くさねと毒どくもあつちあつち

志こころて候さむらいと子こ種くさねとまゝ事ことさうとさる性せい

やどあつちどうとるおわじとらうとらふ

親おやととんあつちい事ことあつちとらふとらふあ

年としとらふの婚こんとらふあつちて仲なつ人ひとあつち

半はん初はつめ屋やの毒どく果くわいとらふとらふあつちとらふあ







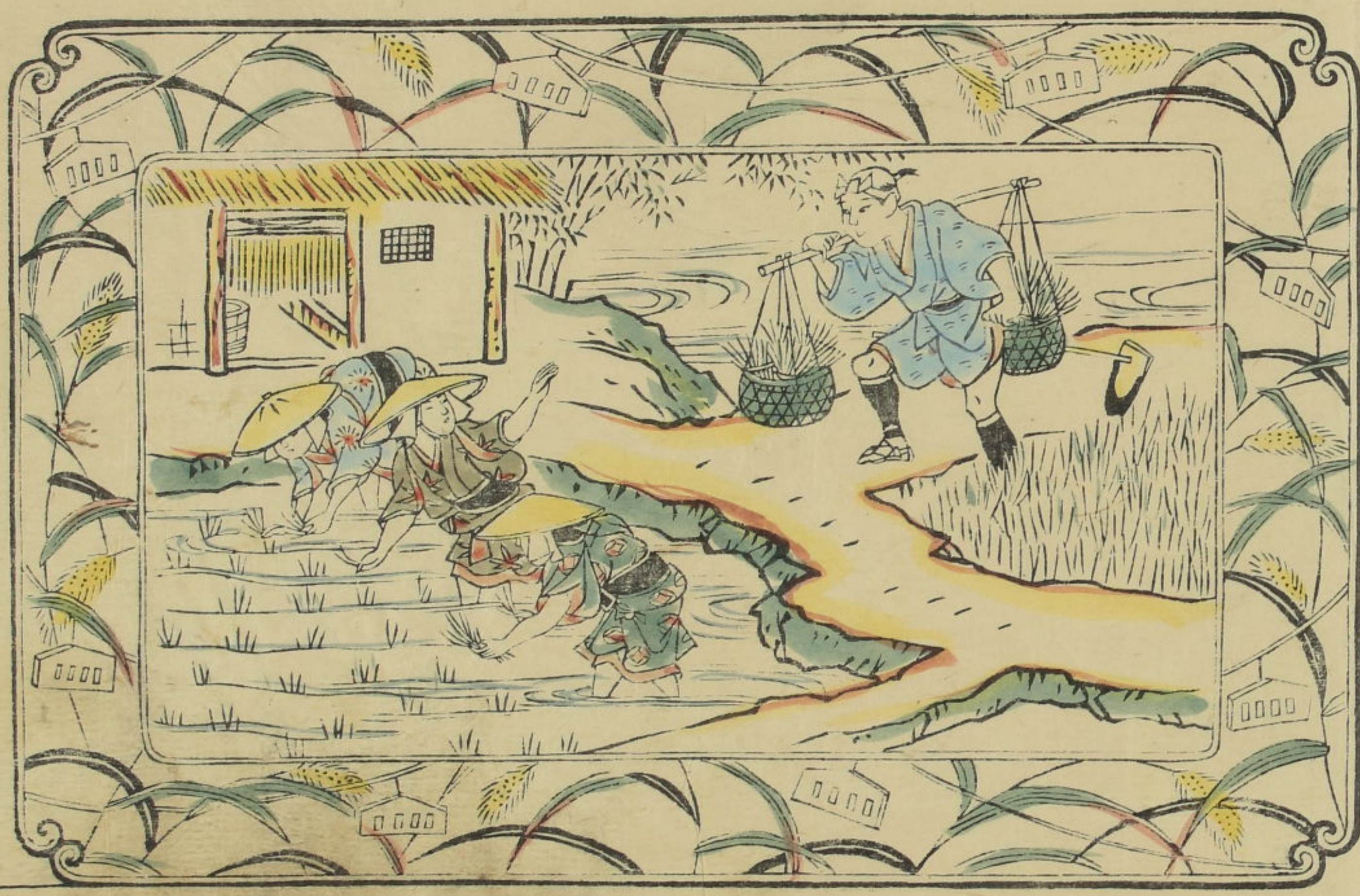


松でござらぬとて真らしく申すに  
とて夜も涼しくおびほのまゝと  
とて桂後の枕をよみていびく松と  
今宵我れと月とを寝るひもや  
とていびく松とて男寝るは  
の寝るまゝとていびく松と  
そつと松をよみて月とを寝る  
いと切やとていびく松と  
おらんとていびく松と  
お寝るよとていびく松と  
松いまのそとよつと寝るは  
とていびく松と  
かそつと松とていびく松と

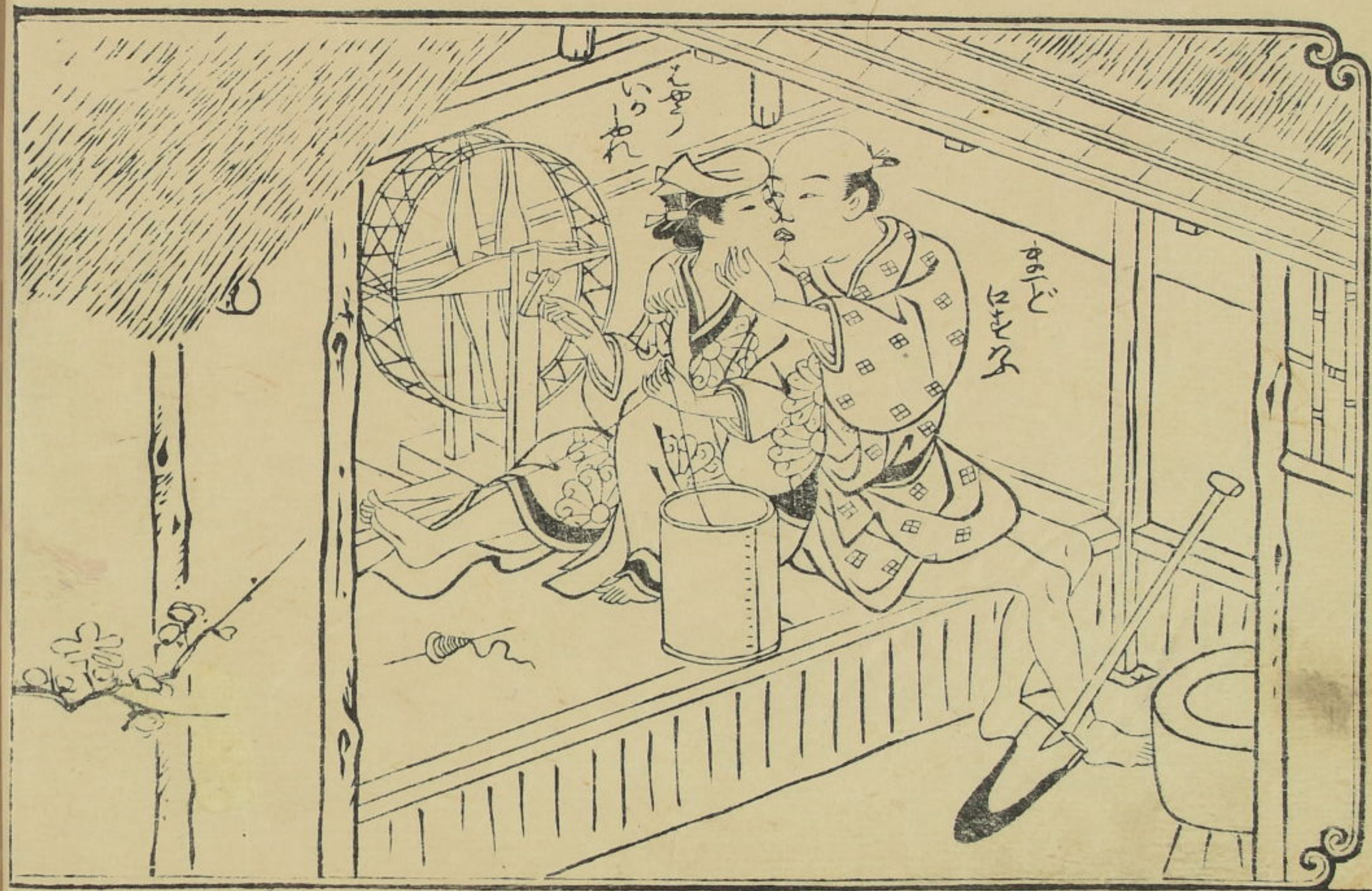
斗が射るに  
是後よとていびく松と  
かそつと松とていびく松と  
いと切やとていびく松と  
おらんとていびく松と  
お寝るよとていびく松と  
松いまのそとよつと寝るは  
とていびく松と  
かそつと松とていびく松と

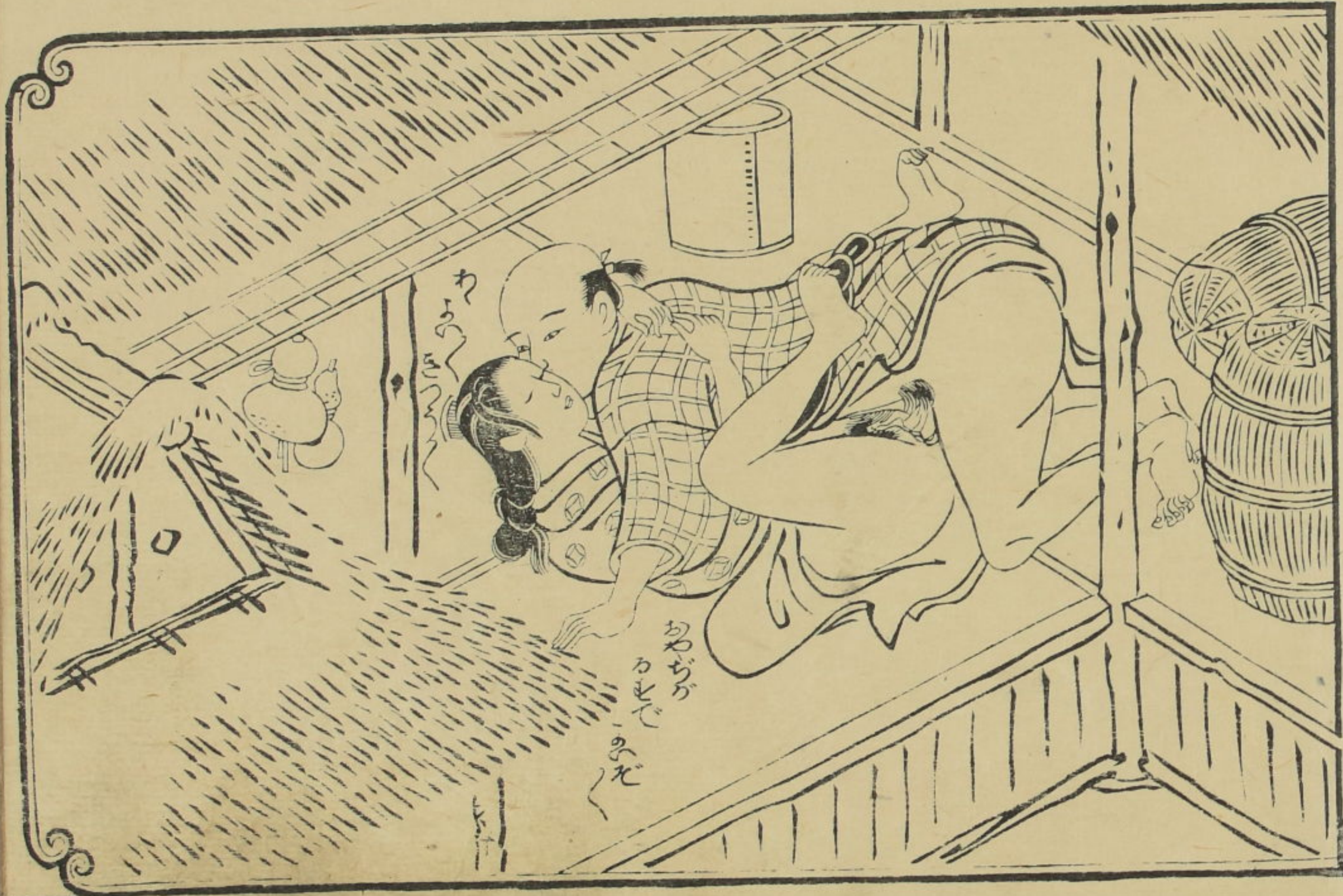


くらわむしとてびりくを殺しはらうとて今  
 時の娘はふりつてはまらぶらうとて瞬で婚  
 入は夜毎にわらわてうらぶらうとてまあび  
 せむしとていふとていふとていふとていふと  
 西田金とてうらぶらうとていふとていふと  
 事とていふとていふとていふとていふと  
 むらむしとていふとていふとていふと  
 は村とていふとていふとていふと  
 去のびとていふとていふとていふと  
 多ぶらうとていふとていふとていふと  
 いひとていふとていふとていふと  
 じとていふとていふとていふと  
 後とていふとていふとていふと  
 世の果報とていふとていふとていふと



九孫也

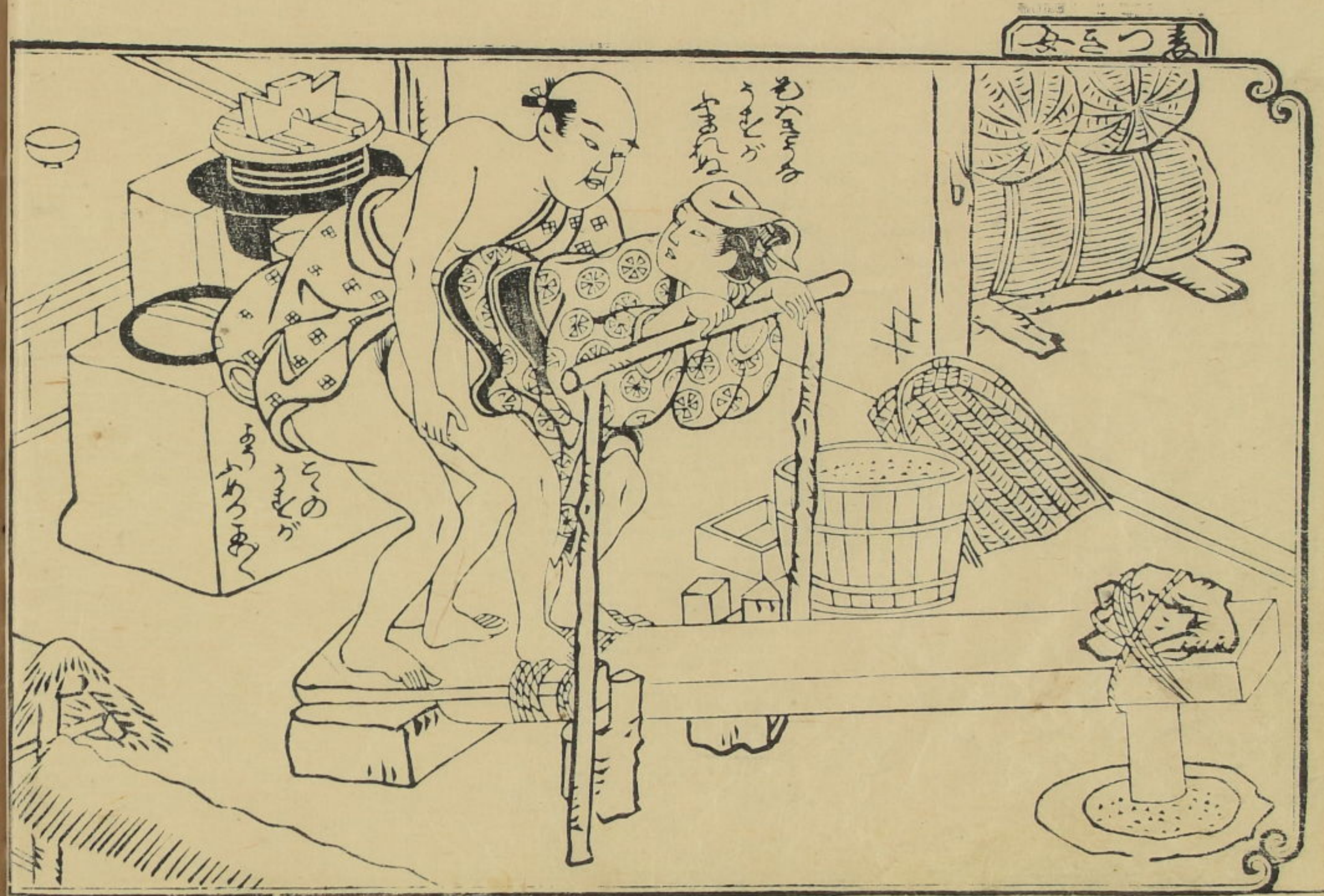
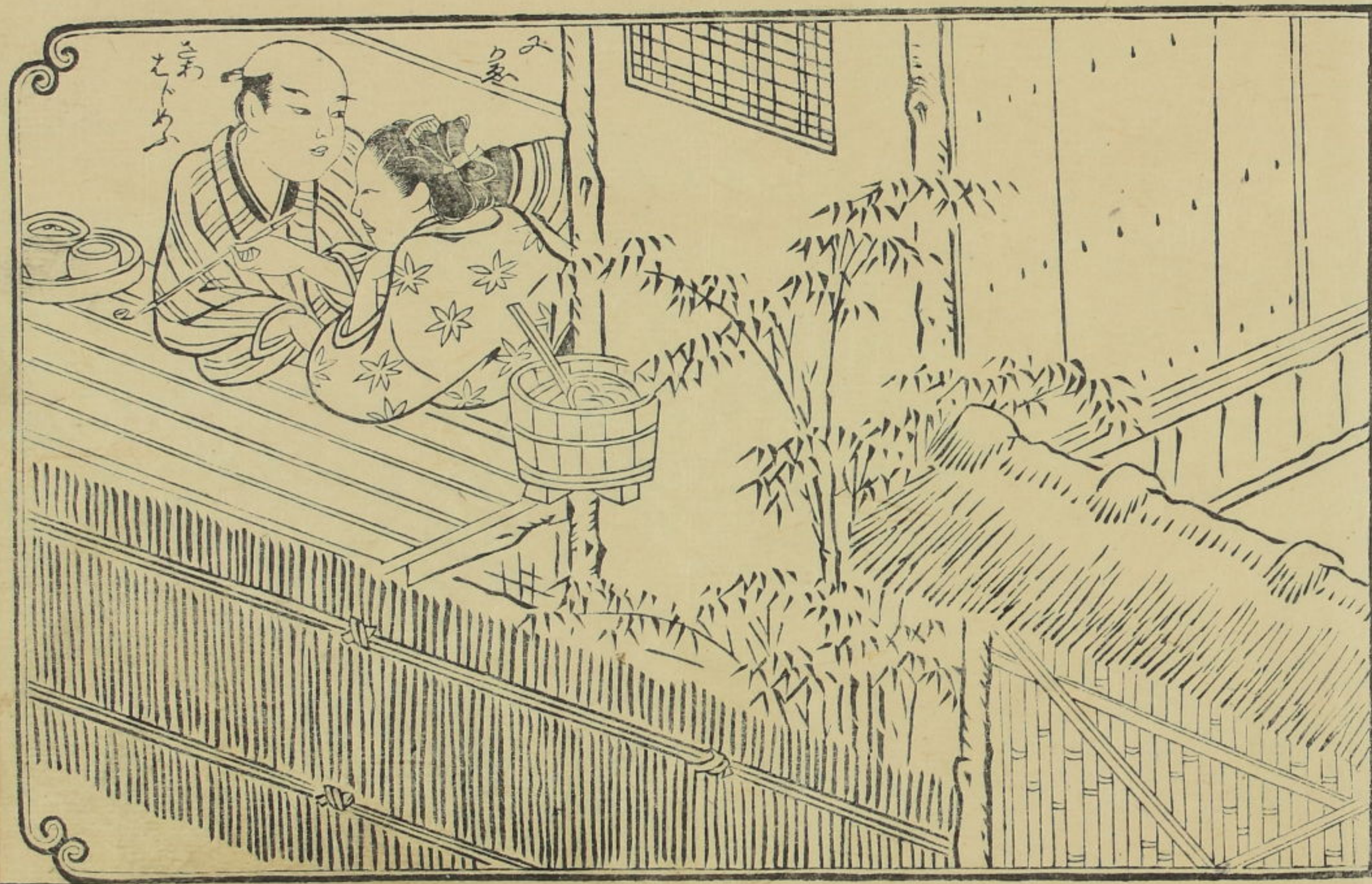




あはれ  
あはれ  
あはれ

あはれ  
あはれ  
あはれ



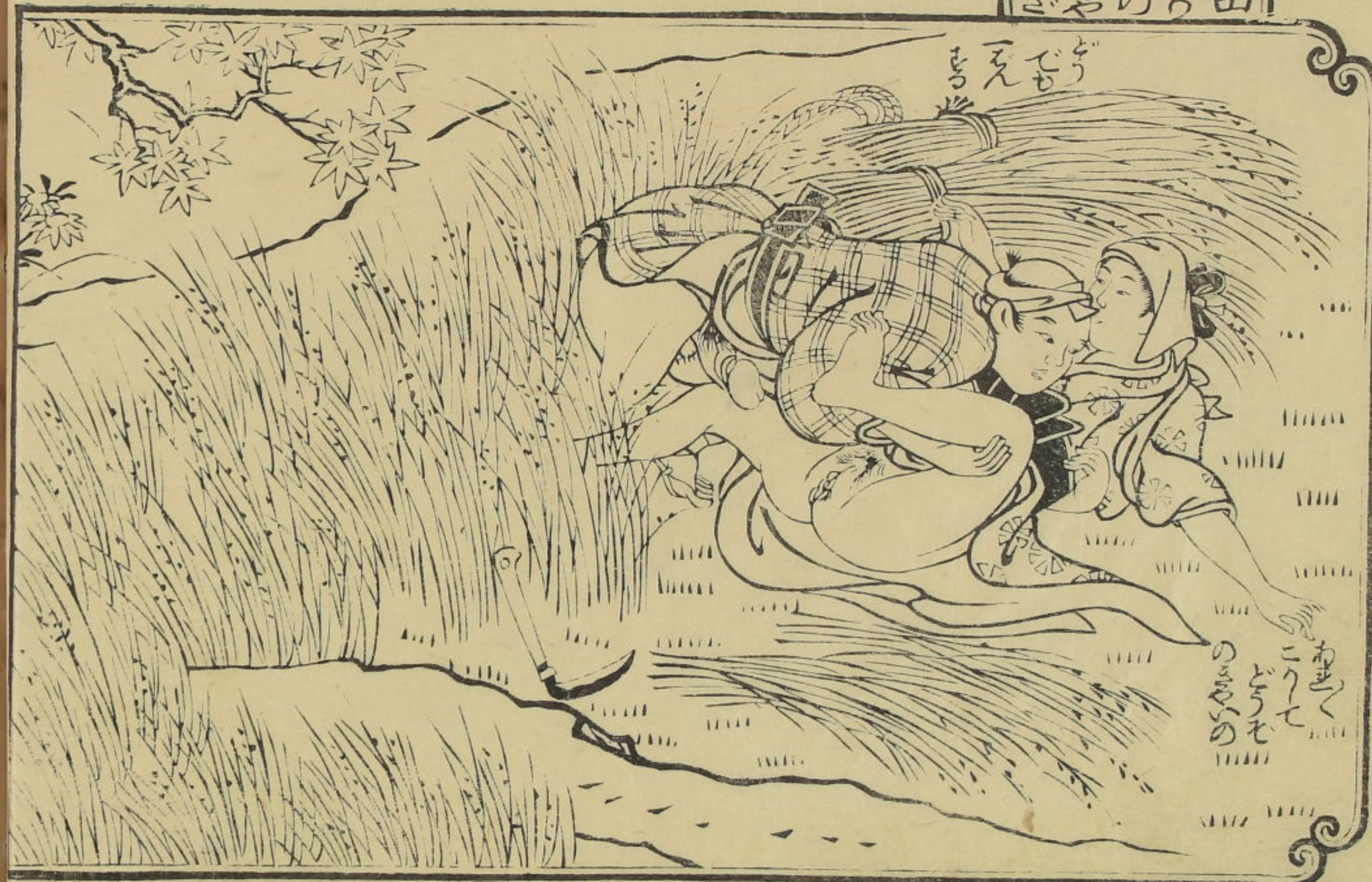






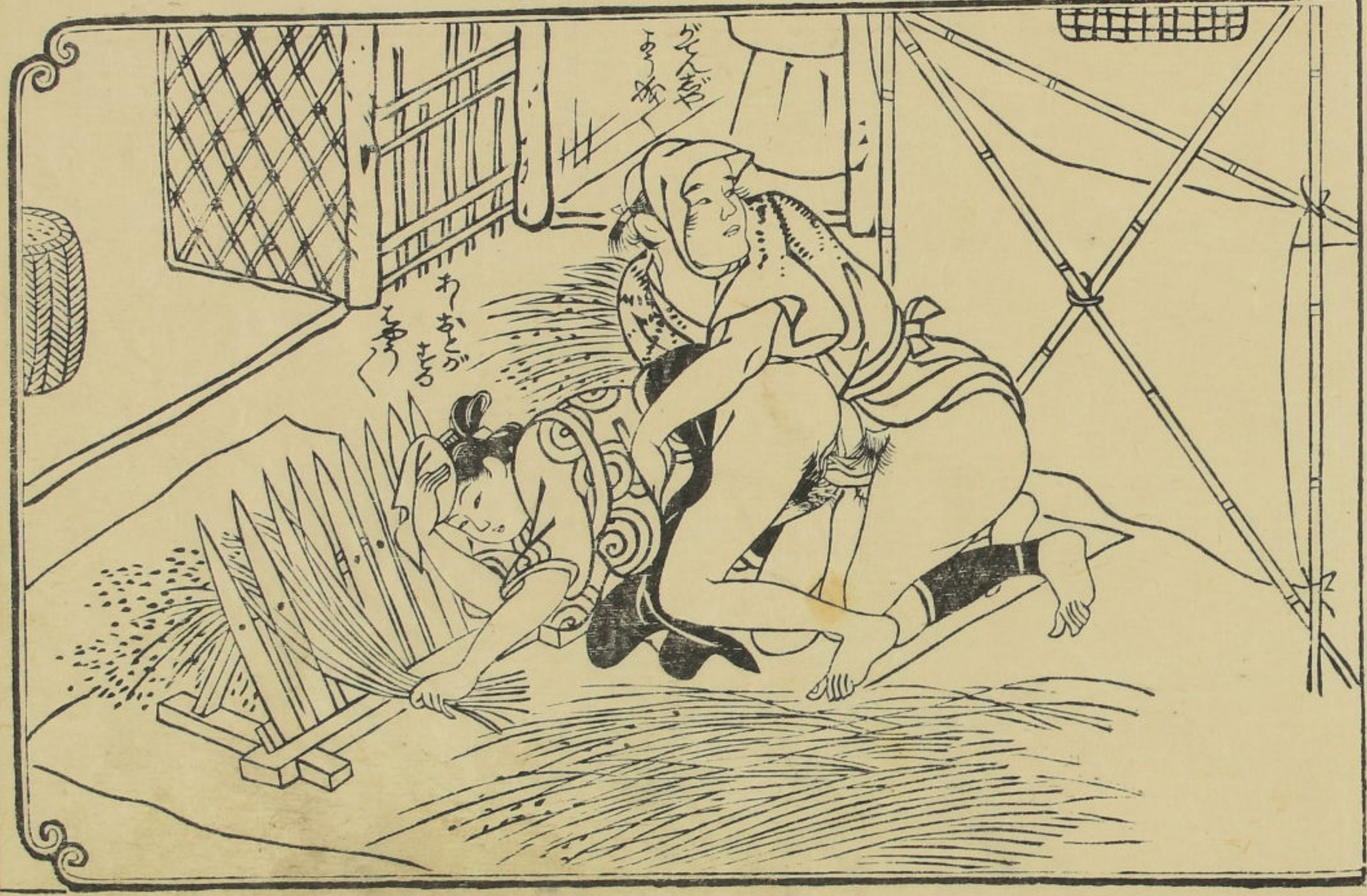


田のら吉の巻

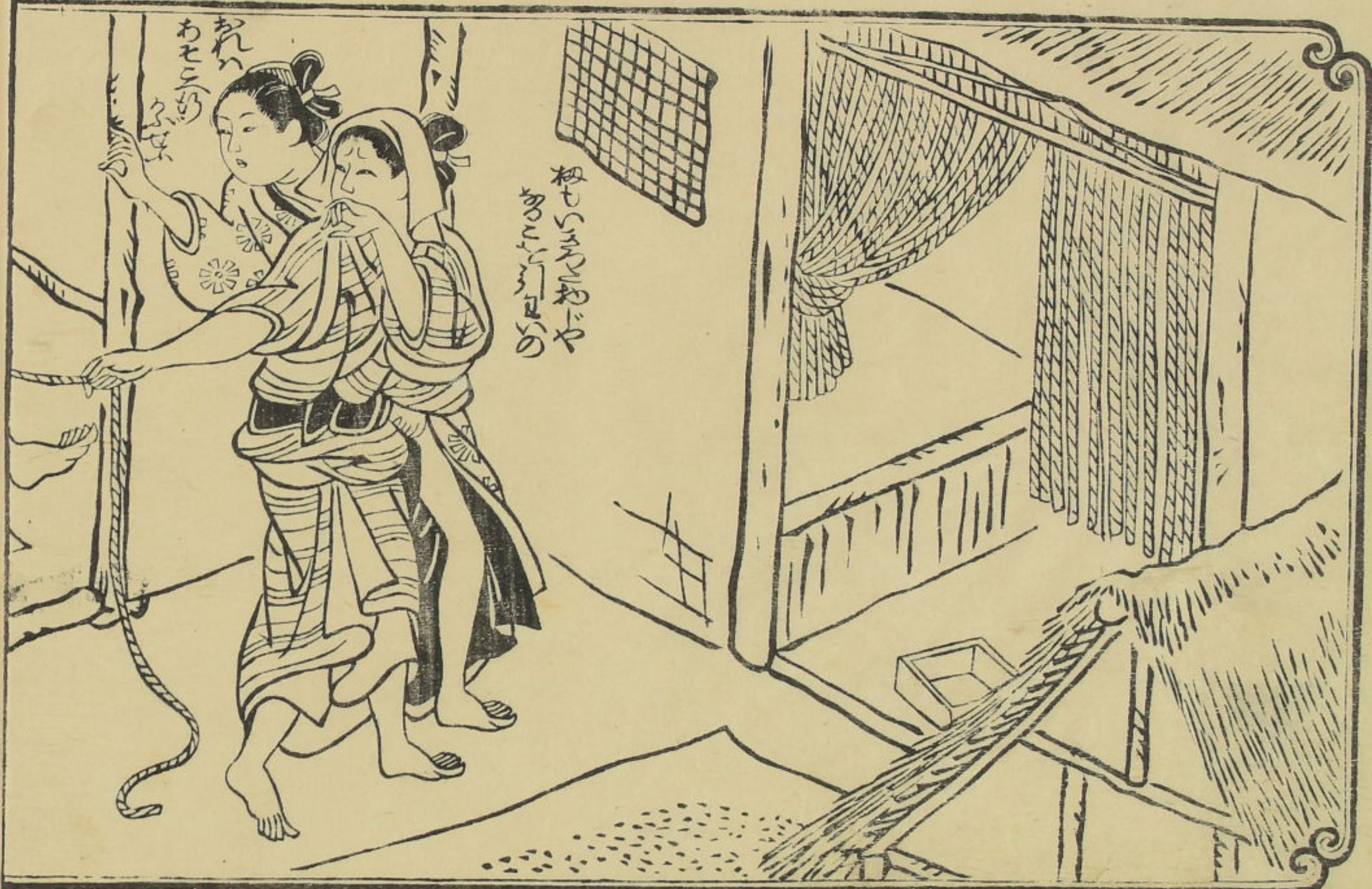
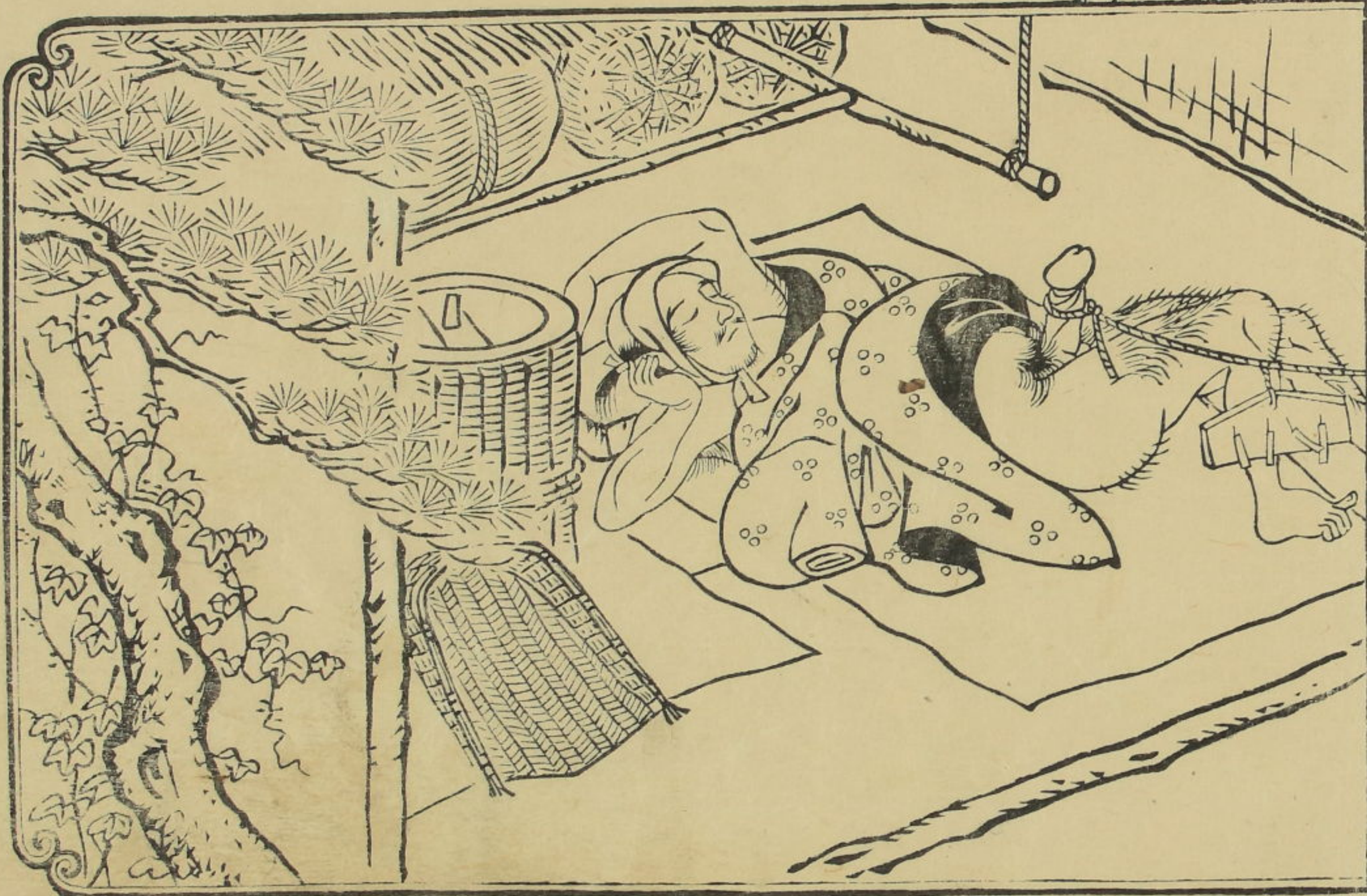




糸 宛 糸



台語天号



あれ  
わたし  
の  
お  
ま  
り

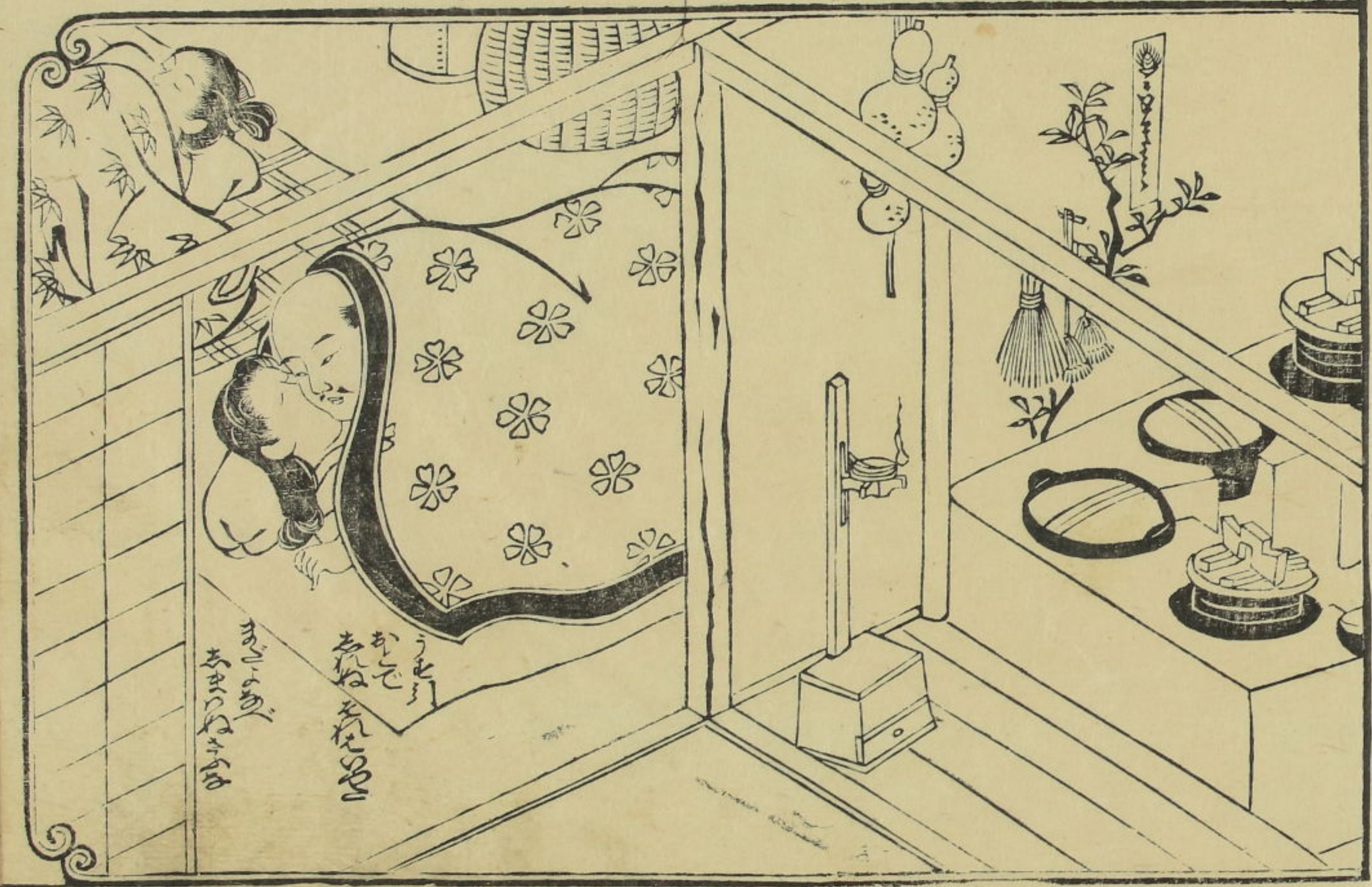
柳  
の  
ま  
り  
の  
ま  
り

古夜



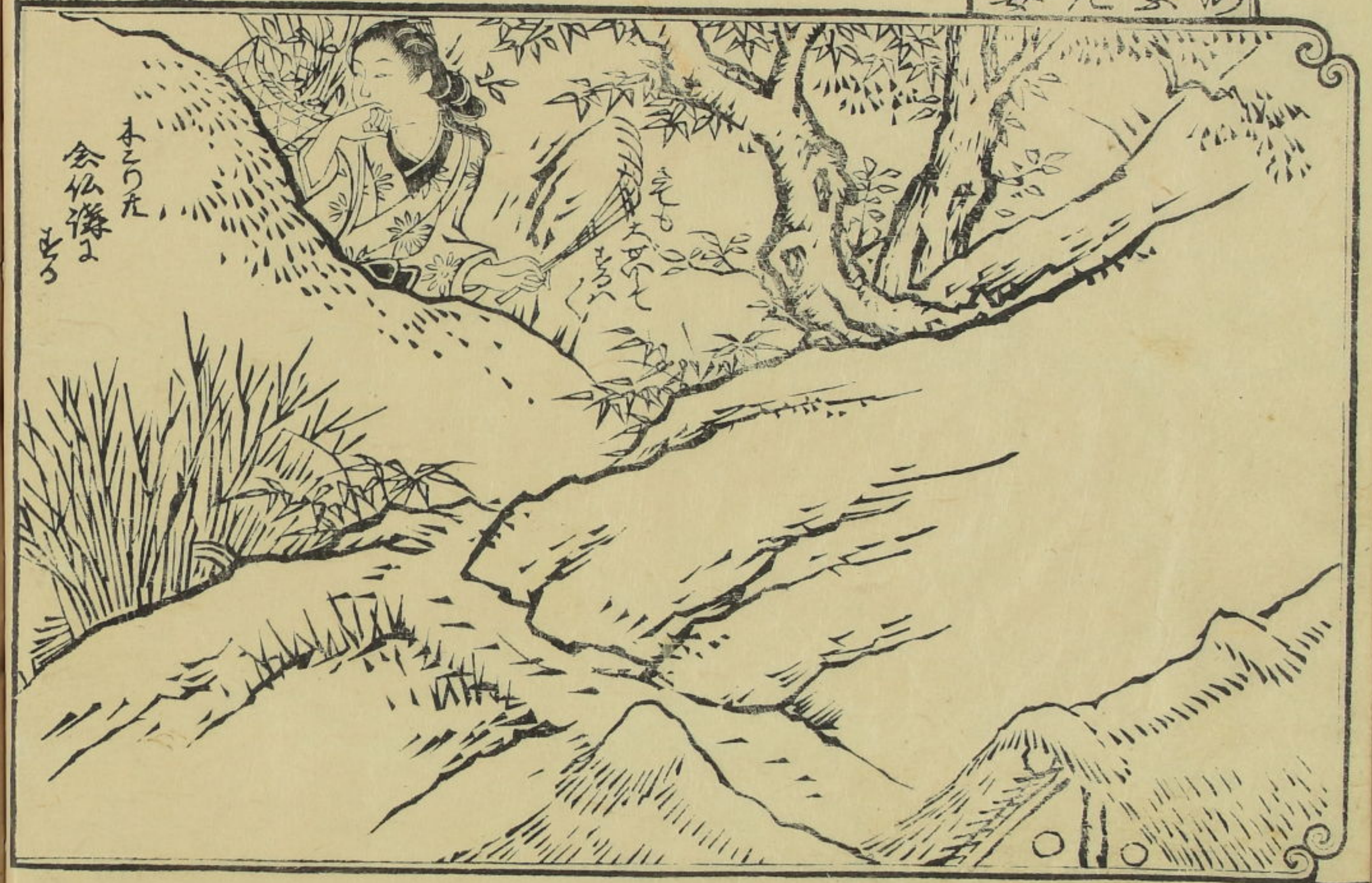
おのれ  
おのれ  
おのれ

おのれ  
おのれ



おのれ  
おのれ  
おのれ

安の巻



本ころ左  
念仏儀よ  
せり

きり  
きり

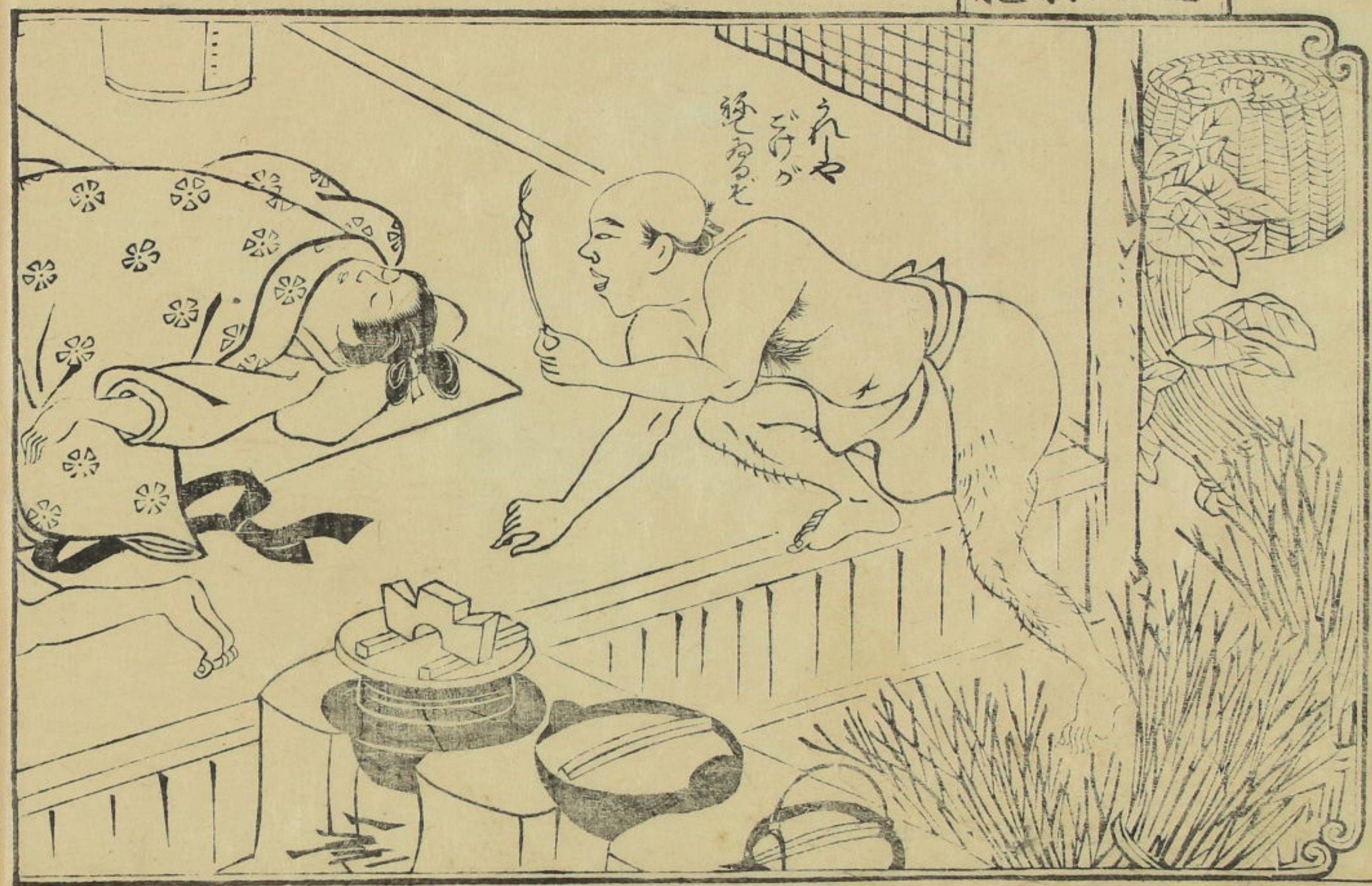


一七  
あし

親  
ついで  
三々  
きり

ついで  
きり  
あし

こさ福拾

















鹿もいび松もびりとのつれが髪かきりて  
目もいびおんてさるる中へさるる鹿が  
隈よりさるる鹿もあつたてはゆい健て  
あつるさるる鹿もいびさるる鹿もいび  
ゆいさるる下村の海邊もさるる鹿も  
女もいび鹿もいび今鹿の中にもいび  
さるる鹿もいびさるる鹿もいびさるる  
命わつて女もいび鹿もいび人のあつた女も  
事(妻)の件(事)もいびさるる鹿もいび何れ  
あつていび鹿もいびさるる鹿もいび  
さるる鹿もいびさるる鹿もいびさるる  
又もいび鹿もいびさるる鹿もいびさるる  
鹿もいび鹿もいびさるる鹿もいびさるる

百雅歌

